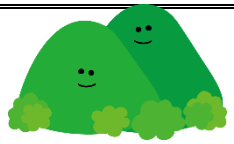
学校教育目標 『気づき 考え 行動する』 ～自分たちの学級・学校は、自分たちでつくる～

小島小学校だより
第 11 号

金峰山



令和6年 6 月 24 日
文責　小山 恵子

熊本市立小島小学校
www.kumamoto-kmm.ed.jp

スマホや携帯と上手に付き合う

AI の進化の速さに驚かされます。先月、チャット GPT の最新モデル「GPT－4o（フォーオー）」が話題になりました。文字や画像の処理速度が向上しただけでなく「人間らしい会話」ができるようになりました。AI の進化によって利便性が向上し、私たちの生活が豊かになるのは嬉しいことです。しかし、一方で AI は戦争にも利用されています。

ネット社会の進化も同様、売買、申請、決済、予約…、何でもスマホでできるようになったのは便利ですが、一方で悪用されることもあります。SNS が発展したことで、いつでも、誰でも、どこでも自由に意見を述べることができるようにもなった一方で、傷つく人・傷つける人、命を絶ってしまう人・奪ってしまう人もいます。「便利」とは、「豊かさ」とは何だろうと考えさせられます。

先日からニュースで話題になっている北海道旭川市の事件。SNS に無断で写真を使用したことからトラブルになったと報道されています。そして、被害者と加害者は初対面だったとのこと。SNS の怖さを垣間見る事件です。

子どもは成長するにつれ大人の手を離れ、コミュニティをどんどん広げていきます。その範囲は到底大人が知り得る範囲ではありません。親としてはとても心配ですが、スマホや携帯を子どもに持たせた時点で、心配事が生じることは避けられません。ひと昔はスマホや携帯を何歳から持たせるかが議論された時代でしたが、今はスマホや携帯とどう上手に付き合うかが重要です。

学校でも情報モラル教育は行っていますが、７月４日（木）、家庭学級講演会で専門的知識をお持ちの戸田先生の講話「スマホをめぐる子どもたちの現状」をぜひ聞いてほしいと思います。スマホをめぐる子どもたちの現状は時代や社会と共に変化します。現状を知ることでスマホや携帯と上手に付き合うにはどうすればよいかを考えるきっかけになると思います。

我が家の田んぼに水が入り、夜な夜な蛙の大合唱。その合唱の大きさたるや・・・。しかし、その大合唱に癒されている今日この頃です。